



7月下旬、CBP（千早ビジネスプロジェクト）では、新宿区市谷本町にある JICA 地球ひろばを訪問しました。地球体験学習コースの地球体験学習と体験ゾーン見学を通して、SDGs についてより理解を深める活動をおこなってきました。

体験ゾーン見学では、「人間の安全保障展 世界を知る、世界を変える！」という企画展で、人々が「恐怖」や「欠乏」から解放され、安心して生存でき、人間らしい生活ができる世界を実現するための、教育や紛争、相互依存などについて分かりやすく展示されていて、生徒たちはあらためて持続可能な開発目標（SDGs）について考える良い機会となりました。

ワークショップでは、「写真からストーリーを考える」と「SDGs の大切度」を各グループで話し合いながら考えました。「写真からストーリーを考える」は、5 枚の写真から 1 枚を選び、その写真から連想される「国」や「ストーリー」を SDGs と関連付けて話し合い、発表をしました。同じ写真を使ったグループもありましたが、設定した国やストーリーが違い、人によって感じるものが違うということを改めて実感しました。「SDGs の大切度」は、グループで 17 の目標を大切だと思う順に並べて、なぜ大切に思ったのかなどを発表しました。グループによって大切な目標の順番が違い、非常に考えさせるワークショップだと感じました。

